

「もっと元気に・京都アクションプラン」

21世紀への飛翔・洛北の交通結節点

国際会館駅前広場

地下駐輪場トップライト



駅前広場全景

京都市

完成にあたって



京都市長

木村 頼業

(ます もと より かね)

新たな世紀への扉を前にした輝かしい年のはじめに、緑豊かな自然と歴史を有するここ洛北の地において、国際会館駅前広場とその地下空間を利用した自転車等駐車場が完成する運びとなりました。これもひとえに、地元の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様の御協力の賜であり、心から感謝申し上げます。

平成9年6月に、地下鉄烏丸線が北伸開業して以来、洛北地域の新たな玄関口として、国際会館駅は、地域の活性化と発展に大きく寄与して参りました。この国際会館駅が本市北部地域の交通結節点としてさらに発展するとともに、ターミナルにふさわしい機能を充実するよう、本市では、かねてより、駅前広場と自転車等駐車場の建設を進めて参ったところであります。

この度完成した駅前広場は、バス乗降場5箇所とタクシー乗降場を設置し、地下鉄とバス・タクシーの乗継ぎを容易にするとともに、地下に計3000台の自転車等駐車場を設置し、年々増加する自転車等の利用に対応するものであります。また、洛北地域の景観に配慮した、利用者に使いやすい、やさしい施設と致しました。

これらは、この地を訪れる人々を温かく迎えるとともに、市民の皆様の生活の利便性や快適性を向上させ、洛北地域のみならず本市北部地域の飛躍向上に大きく貢献するものと確信致しております。

今後とも、市民の皆様との揺るぎないパートナーシップの下、21世紀への飛翔となる新しい都市づくりに積極果敢に挑戦し、「活力と華やぎのあるまち・京都」を実現するために全力を注いで参りますので、皆様方のより一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

(平成12年1月)

事業概要

国際会館駅自転車等駐車場

総事業費：約20億円

主要施設：床面積：約4000m²

収容台数 自転車：2500台、ミニバイク：500台

構 造：鉄筋コンクリート造地下一層式

国際会館駅前広場

総事業費：約8億円

主要施設：施工面積：約4200m²

バス乗降場（5箇所）・タクシー乗降場（2箇所）・タクシープール（6台分）

事業の経過

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
国際会館駅 自転車等駐車場	都市計画決定 事業認可	本体工事	本体工事	内装工事
国際会館駅前広場	都市計画決定 事業認可			築造工事

宝ヶ池散策

国際会館駅前広場が建設された宝ヶ池周辺は、比叡の山々を背景に、水と緑豊かな宝ヶ池公園が広がる自然環境の優れた地域です。

宝ヶ池は宝暦年間（1751～64）に築造された周囲約1.6kmの灌漑用水池であり、昭和24年にこの池を中心として自然林と芝生が生い茂る宝ヶ池公園が都市計画決定されました。この公園は面積約61.8haを有する京都市最大の都市公園であり、都会のオアシスとして市民に親しまれています。また、宝ヶ池の畔には、国立京都国際会館が昭和41年に開館され、日本古来の合掌造りを現代的にイメージしたデザインの建築物であり、宝ヶ池周辺は国際文化観光都市京都を象徴する落ち着いた雰囲気を漂わしている場所でもあります。



宝ヶ池より比叡山を望む

自然との調和を基本コンセプトとして

駅前広場 (地上部)



▲シェルター：バス停の上屋は和風屋根をイメージしガラス張により自然採光



▲トップライト：周辺環境と調和した切妻屋根



▲歩道舗装：自然と調和する御影石



▲庭園灯：ゆらくあかりを採用



▲照明灯：色調はベージュを採用



▲トップライト：自然光を取り入れるためトップライトを採用



▲自転車ラック (2500台)



▲ミニバイクラック (500台)



▲出入口通路：サイクルコンベヤーを設置

自転車等駐車場 (地下部)



- 土木・建築工事
- 電気工事
- 衛生・空調工事
- ゲート工事
- 設 計

大成・公成共同企業体
高崎電機工業(株)
(株)福田商会
オムロン(株)
中央復建コンサルタンツ(株)

「自転車等駐車場整備事業」は、「ガソリン税・自動車重量税等」の財源を
基に、道路整備の一環として実施される建設省の国庫補助事業です。

京都市建設局街路部街路建設課
見つけよう 一人ひとりの いいところ